

第31回高知県公立大学法人評価委員会 議事要旨

令和2年8月26日(水) 13:30~14:10

場所：高知会館 3階 弥生

出席者

評価委員：宮田速雄(委員長) 森下勝彦 寺田覚 井瀬潔
県：西本私学・大学支援課長 宮脇課長補佐 石原主幹

- 宮田委員長 前回の評価委員会における審議に基づき、事務局より評価書案を各委員の皆様にお送りしたところ、ご意見の提出があった。
事務局は、評価委員からの意見について、説明をお願いします。
- 事務局 . . . 説明 . . .
- 委員長 ただいま説明があった資料2のNo.1とNo.2に対して、各委員から意見があればお願いします。
- A委員 文部科学省のホームページで公立化した元私立大学のデータが公表されているが、高知工科大学についても掲載されている。その公表情報における就職率と、実績評価報告書などに記載がある就職率に相違がある。どういった理由で相違しているのか確認したい。
- 事務局 大学側に確認するなどして対応したい。
- B委員 P5の一番下の行に「修士後期課程の学位の質の保証のために」という表現があるが、「修士後期課程」というのは正しいか。
- 事務局 確認して対応したい。
- 委員長 それでは、No1とNo2については、異議なしとする。次に、事務局の修正について協議する。事務局は説明をお願いします。
- 事務局 . . . 説明 . . .
- 宮田委員長 それでは、事務局の修正について協議する。
- A委員 感想というか、お願い。評価書には「中期計画の達成に向けて順調に進捗している」という表現が多々あるが、中期計画は6カ年の計画だと認識している。6年間の工程に対する現時点での状況が分かるような基礎・参考資料もあるとわかりやすいと思う。もう一つは、中期計画に対するコロナウイルス感染症の影響はどのようなことがあるのか。あれば教えて欲しい。

事務局 今回は令和元年度の評価だが、コロナウイルス感染症の影響は年度の最後の方（2月、3月）だったので、影響は限定的だったかと思う。令和2年度はより大きな影響があると思うので来年度の評価の際の課題として認識している。

B委員 P7「財務内容の改善に関する事項を達成するための措置」の中で、科研費の採択率に触れているが、これは間接費が収入として入ってくるという意味なのか。

事務局 そうだ。

委員長 それでは、事務局の修正については、異議なしとします。他に意見がなければ、進行を事務局にお返しする。

事務局 高知県公立大学法人の令和元年度業務実績報告書については、この内容で知事に報告することとする。
本日の会は、これを持って終了する。（了）